特定非営利活動法人地球と未来の環境基金

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

◆ 事業の成果

本年度実施した事業は下記の通りである。

（1）国内森林保全事業

- 岩手 西和賀町での植樹地メンテナンス事業 …… P2
- 千葉 君津市での植樹地メンテナンス事業…… P3
- 千葉 富津市での植樹事業…… P4
- 埼玉 秩父郡での森林整備事業…… P5
- 埼玉 日高市での植樹活動…… P6
- 静岡 川根本町での森林整備事業…… P7
- 奈良 吉野町での森林整備事業、植樹地メンテナンス事業…… P9
- 広島 竹原市での植樹地メンテナンス事業、植樹活動…… P10
- 新規案件への対応等調査事業…… P12
- 千葉 君津市での自然体験活動拠点の基盤整備事業…… P13

（2）海外環境保全事業

- ブラジルでの植樹活動支援事業…… P14

（3）環境助成金プログラム支援事業

- 自伐型林業地域実装による森の就労支援事業（休眠預金等活用事業）…… P15
- 地域の森林を守り育てる生業創出支援事業（休眠預金等活用事業）…… P17
- 原子力産業基盤強化事業費補助金（経済産業省 資源エネルギー庁）…… P18
- 原子力の安全性向上に資する技術開発費補助金（経済産業省 資源エネルギー庁）…… P18
- 社会的要請に応える革新的な原子力技術開発支援事業補助金（経済産業省 資源エネルギー庁）…… P18

◆ 2022年度 ご寄付ご協賛企業・団体一覧…… P19

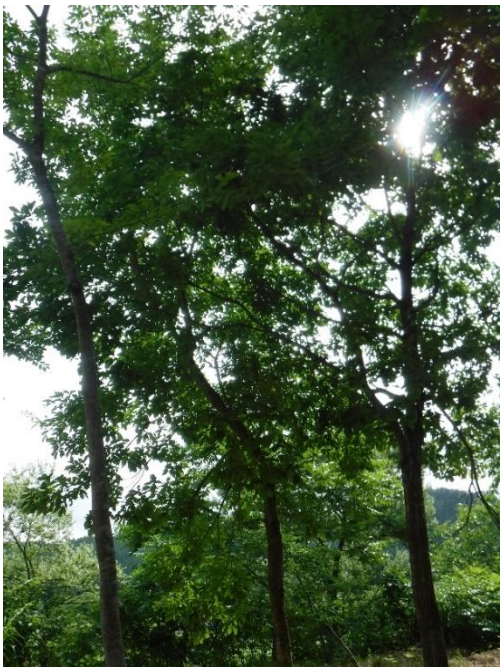
1）国内森林保全事業

【岩手 西和賀町での植樹地メンテナンス事業】

2022 年 8 月 6 日（土）、岩手県和賀郡西和賀町において、地元の「西和賀森づくり隊」を中心に植樹地の下草刈りを行なった。

当地はザ･パックフォレスト 1 号地として 2001 年 6 月に活動を開始した場所で、コナラ 300 本、ブナ 250 本、ケヤキ 50 本を植えている。活動スタートから 20 年が経過し、一部生育の遅れている木もあるが、概ね順調に生長していることを確認できた。豪雪にも負けないように、1 本 1 本丁寧に雪囲いや枝打ちをしてきた成果だろう。大変に感慨深い。今後も、枝打ちや間伐（間引き）を中心に活動を続けていく。

- 活動場所：　岩手県和賀郡西和賀町大渡の民有林（0.45ha）
- 活動内容：　植樹地のメンテナンス作業（草刈り、枝打ちなど）
- 活 動 日：　2022 年 8 月 6 日（土）
- 参加者数：　4 名（西和賀森づくり隊 2 名、EFF2 名）



写真は現在の植樹地の様子。一部生育の遅れている木はあるが、木陰ができる林に成長している。

【千葉 君津市での植樹地メンテナンス事業】

本年度は「豊果(ゆたか)の森」のメンテナンスを中心に活動を実施した。当該植樹地はザ・パックフォレスト第 5 号地として 2009 年 2 月と 2011 年 3 月に果樹を中心に 265 本の苗木を植えた場所である。林道建設時の残土を埋め立てた場所で、植樹地の土壌は堅い粘土質であり、苗木の成長も 10 年余り経過した割に芳しくなく、特に柿の木はまだ樹高が 2～3m と遅れている。

今年度は、引き続き下草刈りや施肥を実施し、併せて植樹地に繁茂する外来種・アブラギリの除伐を行った。また、梅の枝の剪定作業を専門の植木職人に依頼して実施した。前年度に引き続き梅の木から梅（青梅 12.5kg、黄梅 14.5kg）を収穫した他、ミカンの木からミカン若干量を収穫した。収穫した梅は、青梅は梅酒とジュースに加工し、黄梅では梅干しとジャムを作った。

- 活動場所: 千葉県君津市折木沢の民有林（0.3ha）
- 活動内容: 植樹地のメンテナンス作業（草刈り、施肥、アブラギリ除伐、梅の木の剪定）
- 活 動 日: 2022 年 6 月 11 日（土）、25 日（土） 植樹地下刈り、梅収穫・加工
  2023 年 1 月 10 日（月）、11 日（火） 梅下の下刈り、柿の施肥
  2023 年 2 月 19 日（日） 梅の枝剪定、アブラギリ除伐
- 参加者数: 5 日間で延べ 11 名（※うち 5 名は専門職人）

（写真左） 植樹地下刈り作業、（写真右） 植樹地の梅の木。伸び放題の枝は剪定を行った。

（写真左） 植樹地のミカンの木。（写真右） 植樹地の梅の木から収穫した青梅と黄梅。

【千葉　富津市での植樹事業】

千葉県富津市の富津岬は白砂清松の海岸線が続く風光明媚な場所である。しかし近年害虫による松枯れが広がり、多くの松林が枯れ、いばらなど含む灌木が生い茂っているのが現況である。また、荒廃したことで不法投棄も増え、多くの場所が立ち入ることもできない状態になっている。そこで、千葉県の法人の森制度の枠組みを活用し、市民の力で松林を回復させる取り組みをスタートさせた。

第1期の全体計画としては、2023～2027 年で毎年約 1,000 ㎡の植樹及びその後の育樹活動を行う予定である。今年度は 10～11 月に富津岬の松林を管轄する千葉県南部林業事務所と具体的な活動地の選定について協議をスタートさせた。12 月に富津岬エリアにある数か所の候補地視察を行い、候補地を選定、年明けから千葉県との協定締結の準備を行い、2 月下旬に協定締結が完了した。3 月に入り、初年度植付場所の地拵えを実施したが、想定以上に難航し、年度末までに地拵えは完了できず、4 月以降に持ち越しとなっている。

富津は都心部からアクアライン経由で1時間半程度と交通も便利で、植樹場所は平坦な場所で初心者でも作業が容易である。一般市民に加えて、企業ボランティアの参加も積極的に働きかけ、ともすればコロナ禍によるリモートワーク等で孤立しがちな都市在住の市民が共に働き汗を流し、社会貢献を実感できる場を提供して行く。

気候変動への対応が求められ、社会全体が低炭素社会を目指す現在、植えた苗木は CO2 の吸収源として実質的に二酸化炭素削減に貢献し、白砂青松の風景と人々が気軽に散策できる松林が再生することを目指すもので、社会的にも大きな意義がある。

尚、本活動に対して、今年度㈱NTT ドコモからご寄付を頂いた。感謝申し上げたい。

- 活動場所：　千葉県富津市富津岬（富津市富津字中下洲原 2343-1）
  海岸沿いの松林　約 0.5ha（5,000 ㎡）　※初年度植付面積は 0.1ha を予定。
- 活動内容：　植樹予定地の地拵え作業（いばらや灌木の撤去）
- 活 動 日：　2023 年 3 月 11 日（土） 8:00～16:30
  ※予定していた 3 月 25 日（土）は雨天のため延期となった。
- 参加者数：　5 名（うち 3 名は造園のプロ職人）
- 備　　考：　植樹イベントは、2023 年 4 月 15 日（土）実施予定。参加予定人数 40 人。
  植付樹種はクロマツ、植付本数は 600 本を予定している。

（写真左） 富津岬にある松林の現況。多くの松が枯れて灌木が繁茂し、人が入ることも困難。
（写真右） 地拵え 1 日目終了時点の活動地。5 人×1 日がかりでイバラや灌木を撤去するが困難極める。

【埼玉　秩父郡での森林整備事業】

本事業は、中外製薬㈱の協賛を得て 2022 年度より実施する、荒川上流の水源涵養能向上を目指した森づくり活動（間伐イベント）である。

スタートアップとなる 2022 年度は、同社の東京本社や浮間工場の社員ら 24 名が集まった。雨天が心配されたが、当日は大変心地よい小春日和の中、活動することができた。参加者 24 名を 3 班に分けて活動、各班の埼玉県農林公社による丁寧な施業指導と環境教育を受け、全員が清々しい気持ちで 1 時間半を終えることができた。

次年度は中外製薬㈱が埼玉県および埼玉県農林公社と「森林（もり）づくり協定」を結び、活動の発展を目指していく。当法人は、引き続き本事業のサポート役を務める。

- 活動場所:　埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保字平久保地内（（公社）埼玉県農林公社所有の森林）
- 活動内容:　間伐作業
- 活 動 日 :　2022 年 10 月 9 日（日）
- 参加者数:　24 人（中外製薬㈱の社員とその家族）

（写真） 中外製薬㈱の社員と家族が、埼玉県農林公社の指導を受けながら、間伐活動に取り組んだ。

【埼玉　日高市での植樹活動】

ザ・パック㈱の顧客企業である㈱TSI からの依頼を受けて、当法人では 2021 年から社会貢献と顧客との交流を趣旨とした植林活動ができる候補地をリサーチして来た。2 社と協議を重ねた結果、過去にザ・パック㈱が植栽実績のある埼玉県日高市での開催が決まった。当初は 2022 年 3 月に植樹イベント開催という計画を立て準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置が発令されるなどで、最終的に翌年度となる 2023 年 4 月に開催することとなった。

活動予定地には戦後植林したスギ、ヒノキが植えられていたが、陽当たりが悪いことなどが勘案されて、埼玉県が実施していた落葉広葉樹に樹種転換をはかる「武蔵野の森再生事業」にザ・パック㈱が参加、2014 年 3 月から同社の社員参加による植樹活動がスタートしていた場所。これまでの植栽本数は 209 本（クヌギ、ヤマザクラ、イタヤカエデなど）。獣害防止用のサプリガード等は施用していなかったため、約 9 年が経過してクヌギなど一部樹種は樹高 2～3m、幹の太さ 15～20cm に成長しているが、多くが鹿の食害に遭い枯れていて補植が必要な状況。

2022 年度 1 年間は、2023 年 4 月開催に向けた諸準備（カウンターパートの地元 NPO 西川・森の市場との協議、現地視察、資材や苗木の準備等）を進めた。下記の日程で約 20 名の参加者を集めて、苗木 28 本を植栽する予定。

- ■ 活動場所：　埼玉県日高市の民有林（0.12ha）
- ■ 活動内容：　10 年ほど前に植栽した場所での補植
- ■ 活動日（予定）：　2023 年 4 月 6 日（土）
- ■ 備　　考：　植栽予定の樹種と本数：クヌギ 20 本、ヤマザクラ 5 本、アカマツ 3 本
  ※いずれも獣害防止ネットを施用

（左写真） 植樹活動予定地を斜面下から見上げたところ。過去に植栽した苗木が獣害でほぼ枯死している。
（右写真） 植樹活用予定地の頂上部分。頂上付近から順に、斜面の約半分を初年度に植栽する予定。

【静岡 川根本町での森林整備事業】

本事業は、2019 年度より中外製薬㈱の協賛を得て、大井川の水源涵養能と強い保土力の向上を目的に、地元 NPO かわね来風と共催で取り組んでいる森づくり活動である。

○ 植樹地の灌木除去＆メンテナンス活動

川根本町 1 号植樹地である上長尾地区（2013 年 3 月植栽）において、一般ボランティア 2 名と中外製薬㈱の社員とその家族 4 名の参加を得て、苗木の生長を妨げている灌木を伐採、獣害防止ネットや苗木に絡まった弦を除去するなどのメンテナンス活動を行なった。一部は枯死している苗木はあるが、植樹地全体的には良好に生長していることを確認した。今後も、中外製薬㈱と NPO かわね来風の協力を得て、丁寧な育林活動を続けていきたい。

- 活動場所： 静岡県榛原郡川根本町上長尾の山林（民有林）0.3ha
- 活動内容： 植樹地の灌木除去とメンテナンス作業
- 活 動 日： 2022 年 9 月 17 日（土）
- 参加者数： 6 人（うち、中外製薬㈱の社員 3 名＋家族 1 名、一般ボランティア 2 名）

灌木除去活動＠上長尾

灌木除去活動＠上長尾

川根本町 2 号植樹地の田野口地区（2014 年 3 月植栽）は、NPO かわね来風に委託する形で、下草刈り作業を行なった。以前は茶畑だった土地であるためか、生育が少し不調である。捕植すべきかどうかは、土壌の酸塩基試験を実施したうえで検討したい。

下草刈り前＠田野口

下草刈り後＠田野口

○ 山林の間伐ボランティア活動

適度に間伐することで山林に光を入れて光合成を促進し、主木を生長させ、強い保土力と水源涵養能の向上を図ることを目的に、同町の山林において間伐体験イベントを開催した。長期的な視野では土砂災害防止に寄与することで美しい山林景観の形成と大井川流域の観光業発展、そして今後は茶箱生産を側面的に支援することで同町山林の適正管理にもつなげていきたい。

2019 年度に中外製薬㈱の社員とその家族が参加する間伐体験イベント（29 名が参加）以降、コロナ禍となり開催を見送ってきた。今年度は大変良好な天候の中、3 年ぶりに開催することができた。伐り出した 10 本程度の材（直径 15cm 程度）は、町内にある茶箱製造所（㈱前田工房）の貯木場に運搬し、天日で乾燥させている。次年度の間伐体験イベントで木工 WS を開催したり、前田工房の茶箱製造工程にボランティアが伐採した木を加えたりするなど、間伐材の具体的な活用方法を提示することで参加者の満足度を引き上げ、リピート参加へとつなげたい。

- 活動場所：　静岡県榛原郡川根本町尾呂久保の山林
- 活動内容：　間伐活動
- 活　動　日：　2022 年 11 月 5 日（土）
- 参加者数：　8 人（中外製薬㈱の社員とその家族）

（写真）　中外製薬㈱の藤枝工場社員と家族が間伐活動。自分たちが伐倒した木を、道上に停めたトラックまで運搬した。その木は貯木場で 1 年間乾燥させ、木工ワークショップや茶箱の材料に生まれ変わる予定。

【奈良 吉野町での森林整備事業、植樹地メンテナンス事業】

○ 元気森・MORI in 吉野山

2022 年 11 月 12 日、奈良県吉野町の吉野山においてザ・パック㈱他協賛企業のボランティアを集めた間伐体験イベント「元気もり・MORI in 吉野山」を開催した。毎年恒例のイベントだが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020, 2021 年と開催を見送っており、実に 3 年ぶりに開催となった。ただし活動を再開した 2022 年度も感染防止に配慮して、協賛企業 24 名だけの小規模開催とした。

参加者 24 名を全 4 班に分け、各班の林業専門家による指導のもと吉野山の森林整備に汗を流した。例年通り、伐る木を選び（選木）、倒す方向を決め、木にかけた縄を腕の反動で上方に放り留めておき、鋸で 3 分の 1 程度の切込み（三角形の受け口）を作った後は、反対側から鋸で切っていき（追い口）、弦（つる）というある程度の部分を残して、縄を引っ張って木を倒す。

作業終了後は、いつもは参加者全員で配給を受けた豚汁とおにぎりで一息をつき、各々の活動成果について語らい、交流するのだが、今回はお弁当配布して解散する形式とした。

- 活動場所： 奈良県吉野郡吉野町吉野山の民有林
- 活動内容： 40 年生スギ・ヒノキの混合林（1ha）の間伐
- 活 動 日： 2022 年 11 月 12 日（土）
- 参加者数： 協賛企業社員 24 名（ザ・パック㈱、㈱エディオン）、吉野中央森林組合、吉野山林業研究会、吉野山自治会、NPO 法人地球と未来の環境基金

○ 世界（文化）遺産吉野の山の森林保全と育成

2010 年 11 月より、㈱パル、町内の山林所有者北岡本店、吉野中央森林組合、ザ・パック㈱と 5 者協定「世界（文化）遺産吉野の山の森林保全と育成を目的とした「PAL／フォレスト植林」」を結び、生物多様性の森への保護と育成を目指して、緑の保全活動と植林事業を展開している。

2022 年度は、㈱パルとザ・パック㈱より社員ボランティア計 45 名を迎え入れて、吉野中央森林組合の指導を仰ぎながら、植樹地の下草刈りと枯れた苗木の植え替え作業を実施した。

- 活動場所： 奈良県吉野郡吉野町の民有林 0.5ha
- 活動内容： 植樹地の下草刈り、苗木の補植 10 本（ウリカエデ 5 本、エゴノキ 5 本）
- 活 動 日： 2022 年 11 月 19 日（土）
- 参加者数： 協賛企業 45 名（㈱パル、ザ・パック㈱）、吉野中央森林組合、NPO 法人地球と未来の環境基金

【広島 竹原市での植樹地メンテナンス事業、植樹活動】

○ 植樹地の下刈り活動

2020～2021 年の約 2 年間、COVID-19 の感染拡大防止を図るため、多数のボランティアを集めて開催する森林保全イベントは開催を見送ってきた。竹原市の活動も同様である。少しずつ社会も落ち着きを取り戻し始めてきたことから、2022 年度は小さな規模から活動を再開した。

2018 年 7 月に発生した記録的な集中豪雨「平成 30 年 7 月豪雨」は、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害を発生させ、死者数が 200 人を超える甚大な災害となった。バンブー・ジョイ・ハイランド公園周辺の山林においても土砂が流出、斜面が崩落しており、2020 年 3 月に地元の災害復興気運を高めることを目的としてモミジ 600 本を植栽した（コロナ禍中だったため、植樹イベントは開催できず、尾三地方森林組合に作業を委託）。

2022 年度は、協賛企業 2 社の社員、竹原市職員、市民のボランティアなど計 22 名の参加を得て、同植樹地の下刈りを実施し、モミジの育林を試みた。引き続き、企業や地元市民、森林組合等の協力を得て、強く大きく育てていきたい。

- 活動場所： 広島県竹原市高崎町（バンブー・ジョイ・ハイランド裏手の山林） 0.1ha
- 活動内容： 2020 年 3 月に植樹した場所の下刈り、整備
- 活 動 日： 2022 年 8 月 27 日（土）
- 参加者数： 22 名 （内訳）
  ・協賛企業（ザ・パック㈱…5 名、㈱エディオン…6 名）
  ・竹原市役所…5 名 ・その他…2 名 ・EFF…4 名

○　春の植樹活動

上記の活動と同様に、「平成 30 年 7 月豪雨」によって崩落した斜面の山林再生を目的として、植樹イベントを開催した。今回の活動は、COVID-19 の感染拡大防止に配慮してボランティアの公募は行なわず、参加者は協賛企業数社の社員および地元 NPO ふれあい館ひろしまのツテで集めた親子だけに絞り、中規模イベントとした。

広島県竹原市における活動は、2004 年に山火事跡地の植樹活動からスタートしている。この地域は、降雨量が少ない瀬戸内独特の気候や「まさ土」と呼ばれる花こう岩土壌の性質上、災害が起こりやすい特性がある。保水力や水源涵養能の向上を図るという趣旨で活動を継続し、引き続き広島県都市部の企業ボランティアに参加を呼びかけて支援を募っていくと同時に、地元市民の参画を工夫していきたい。

- 活動場所：　広島県竹原市高崎町（バンブー・ジョイ・ハイランド裏手の山林）　0.2ha
- 活動内容：　豪雨で土砂崩れした山林での植樹
  植栽した苗木：モミジ 10 本、ヤマザクラ 10 本、ヤマモモ 40 本、スーパーマツ 40 本
- 活 動 日：　2023 年 3 月 18 日（土）
- 参加者数：　49 名　（内訳）
  ・協賛企業（ザ・パック㈱…6 名、㈱フィル・エ・クチーレ…10 名、㈱エディオン…5 名）
  ・NPO ふれあい館ひろしま…13 名　　・広島県立忠海高等学校…6 名
  ・その他…11 名　　・EFF…4 名

【新規案件への対応等調査事業】

○　大阪府四條畷市でのフォレスト活動（間伐）

2016 年 6 月、ザ・パック㈱が大阪府四条畷市の山林においてスタートした活動で（ザ・パックフォレスト第 8 号地）、年 3 回のペースで同社社員が参加する間伐体験イベントを開催している（雨天中止やコロナ禍中の自粛があったため活動実績は 5 回）。本活動は大阪府が実施している「アドプトフォレスト制度」に参画する形式で、スギやヒノキの間伐の他、ハイキングコースの維持補修等を行なうことで、生物多様性の保全とともに地域景観を整え、憩いの場所になるように荒れた森林の再生を目指している。

従来はザ・パック㈱の総務部門が事務局を担っていたが、2023 年度から当法人が務めることになった。これに伴い、大阪府森林組合と今後の役割分担について協議し、活動現場の確認やザ・パックと事務引継ぎの打合せを行なった。なお、2024 年度は 4 月 15 日、6 月 10 日、10 月 14 日に開催予定。

- 訪問日時:　2023 年 3 月 10 日（金）
- 活動現場:　大阪府が所有する公有林（四條畷市立野外活動センターより徒歩）

○　長野県諏訪郡富士見町でのフォレスト活動（植樹）

長野県諏訪郡富士見町の山林において、ザ・パックフォレスト活動の新規植樹サイト立ち上げ準備を行なった（第 9 号地になる予定）。長野県が実施している『森林（もり）の里親促進事業』に参画する形で、富士見町立沢区の共有林（1.8ha）において、ザ・パック㈱等の社員ボランティア参加、地元の協力を得て、毎年 5～6 月の時期に 0.3ha ずつ（カラマツ 700 本程度）を 6 年かけて植栽していく活動計画である。

活動予定地はアカマツ・カラマツ混交林の皆伐予定地で、植樹から 60 年以上経過し主伐期を過ぎたカラマツとアカマツの皆伐跡地に植栽して森林の人工更新を促していく。皆伐作業費および材の運搬、地拵えの費用は富士見町が負担し、里親企業に求められる森づくり費用は、苗木、獣害防止用ネット、イベント費用（バスチャーター、炊き出し、参加者の保険、軍手等の消耗品など）のみになる。

今年度は、11 月 16 日（水）と 3 月 22 日（水）に現地視察と打合せを行なった。1 回目の植樹イベントは、2024 年 6 月 10 日（土）に開催予定である。

（写真上・下） 皆伐前の活動予定地（11 月訪問時）

【千葉 君津市における自然体験活動拠点の基盤整備事業】

前年度からスタートした本事業は、自然体験、特に農業体験ができるハード、ソフトの基盤を創る取り組みである。初年度は君津市戸崎で竹が繁茂した場所を借り受け、開墾、圃場を整備したが、陽当りなど環境が悪く作物の育ちが芳しくなかった。現地の活動拠点として使用している通称「小櫃ハウス」の近隣住民との交流を通じて、4 月から君津市三田に環境の良い耕作放棄地（約 450 ㎡）を新たに使わせていただけることになり、新たな圃場の整備に取り組んだ。尚、初年度使用した戸崎の圃場は、6 月末までに撤収した。

前年度の戸崎の圃場に比べると、三田の圃場は陽当りが格段に良く、おしなべて作物の成長は良好であった。畑のプランニングと管理は、年間 100 日超現場に通う会長の高橋が担い、作業には定期的に有志のボランティアが参加した。11 月の芋煮会には家族連れで 13 名が参加、当日は小雨が降り芋掘りはできなかったが、事前に収穫した里芋で芋煮をふるまった。また 3 月には味噌を仕込むワークショップを開催し、8 名が参加した。小櫃地区で活動を始めて 2 年が経過し、近隣住民との小さな交流も生まれつつあり、好条件の畑で作物の生育環境も改善した。今後は作物の品質向上や農体験プログラムの充実を図って行きたい。

■ 活動場所: 千葉県君津市三田（耕作放棄地約 450 ㎡）

■ 活動内容:

4 月	放棄地の草刈り、耕耘、畝立て（4 畝）、植付（芋類、豆類、夏野菜）
5 月	耕耘、畝立て（3 畝）、植付（芋類、夏野菜）、誘引用支柱等設置、水やり
6 月	水やり、草取り、芽かき、君津市・豊果の森で収穫した梅の加工、獣害対策用ソーラー電柵設置
7 月	水やり、草取り、追肥、土寄せ、夏野菜収穫
8 月	草取り、追肥、誘引用支柱等撤去、夏野菜収穫、夏野菜畝片付け
9 月	夏野菜畝片付け、耕耘、畝立て（2 畝） 植付（秋冬野菜））
10 月	サツマイモ、ナス、ピーマン収穫、ゴーヤ誘引ネット片付け、畝立て（2 畝）、植付（イチゴ、ニンニク、玉ねぎ）
11 月	植付（そら豆、エンドウ）、収穫（サツマイモ、里芋）、夏野菜畝片づけ、芋煮会（11/26）
12 月	収穫（芋類、秋冬野菜）
1 月	追肥、耕耘、漬物仕込み
2 月	豆類の支柱設置、追肥、畝立て（1 畝）、果樹植付（みかん、イチジク、ブルーベリー、植付（ジャガイモ）
3 月	味噌作り WS（3/4）、防草シート設置

（写真左） 芋煮会の際に参加者が畑の見学に。（写真右） 2022 年度から借りている三田地区の圃場。

（2）海外環境保全事業

【ブラジルでの植樹活動支援事業】

2022 年度はブラジルの新型コロナウイルス感染拡大が収束に向かい、カウンターパート NGO「アマゾン森林友の協会（ASFLORA）」では通常活動ができる状態が戻って来た。当団体では今年度は Asflora と連携し、新しいプロジェクトの検討・準備や資金調達に動いた。検討の俎上に乗った案件は、以下の通り。

○ 都市近郊における水源保全林造成

- ■ プロジェクト場所：　パラ州マリツーバ市
- ■ 植樹面積（本数）：　3 年間で 0.4ha（10,000 本）
- ■ 植　樹　目　的：　低所得層向け大規模住宅地に隣接する市の水源保護地内の荒廃したエリアで、水源涵養林を造成する。

本案件については、2022 年 9 月に（公財）日中友好会館が実施している「日中植林・植樹国際連帯事業」という助成金を申請したが、不採択であった。当団体では、従来からブラジル・アマゾン地域での植樹の手法は「宮脇方式」と呼ばれる密植混植方式を採用して来た。しかし、上記助成機関から 1 ㎡当たり 2.5 本という植付本数は経済的合理性がなく、造林方法として適当ではないとのフィードバックがあった。

○ アマゾン河口コチジューバ島での土壌侵食防止の植樹活動

- ■ プロジェクト場所：　パラ州ベレン市コチジューバ島
- ■ 植樹面積（本数）：　3 年間で 0.6ha（12,000 本）
- ■ 植　樹　目　的：　森林伐採等の影響から、島の海岸部分で土壌浸食が発生しており、学校など住民生活が脅かされている。土壌流出を食い止めるための植樹を行う。

本案件については、2023 年 2 月に「公益信託地球環境日本基金」及び 2023 年 3 月に（公社）国土緑化推進機構が実施する「緑の募金」の助成へ応募。期末時点では審査結果を待っている。

（写真左上）　マリツーバ市のプロジェクト地。左側の白い△部が水源涵養林造林予定地。

（写真右上）　コチジューバ島の河岸土壌流出状況。

（写真左下）　エロージョンが激しく、学校校舎近くまで河岸侵食が及んでいる。

（3）環境助成金プログラム支援事業

【自伐型林業地域実装による森の就労支援事業（休眠預金等活用事業 / 緊急枠）】

本事業は JANPIA（(一財)日本民間公益活動連携機構)が実施する休眠預金等活用事業の「2022 年度新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠」に係る資金分配団体に、（特非）自伐型林業推進協会、ランドブレイン㈱と 3 者でコンソーシアムを組み応募し、採択を受けて実施中の事業である。JANPIA より受けた助成金を活用して行う助成事業では、「コロナ禍や物価高騰の影響を受け、自ら仕事や生き方を変えるきっかけを求める人」、「経済的・環境的に持続可能で災害に強い森づくり手法である自伐型林業の森林経営スタイルに共感する全国の林業就業希望者」を対象に、自伐型林業の技術研修・経営指導、受講者が自伐型林業を生業として自立していくための山林・機材確保、林業関係者の支援体制づくり等の推進を行う総合的な取組に対して支援を行うことを目的としている。また、地域の森林を保全しながら持続的な収入を得られる自伐型林業の地域実装を通じ、コロナ禍により生きづらさを感じている人々が、将来に希望を持ち、森林と共生する新たなライフスタイルを歩み始めることを目指している。

助成事業の概要は以下の通り。

＜助成事業の概要＞

- ■ 対象となる地域: 日本国内の全域
- ■ 対象団体: 自伐型林業を実践する民間公益活動を行う団体（複数団体によるコンソーシアム可）
- ■ 助成期間: 1 年間（2022 年 9 月～2024 年 3 月）
- ■ 助成額: 1 実行団体当たりの助成上限額は 1000 万円/年
  ※助成総額は 10000 万円を目途とする
- ■ 公募期間: 2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 22 日（木）

応募は、北海道 1 件、岩手県 1 件、宮城県 1 件、栃木県 2 件、東京都 1 件、福井県 1 件、長野県 1 件、静岡県 1 件、京都府 1 件、鳥取県 1 件、広島県 1 件、高知県 2 件、福岡県 1 件、熊本県 1 件の計 16 件で応募総額は 159,923,620 円だった。外部有識者 3 名で構成される選考委員会で厳正かつ公正な審議の結果、10 団体を実行団体として内定し、事務局で事業計画及び資金計画を精査した後、最終的に同 10 団体に対して総額 99,981,000 円の助成を決定した。その後各実行団体と覚書を締結し、各実行団体にて助成事業をスタートさせ、前期分の助成金を支払った。

実行団体の助成事業実施に際しては、コンソーシアム団体である自伐型林業推進協会が各実行団体に 2 名の担当者を決めて、一定の頻度で各団体を訪問するなどし、円滑に事業が進行するように伴走支援を行っている。

＜自伐型林業地域実装による森の就労支援事業 実行団体＞

No.	実行団体名称	所在地	助成金額	申請事業名称
(1)	一般社団法人東北・広域森林マネジメント機構	岩手県	10,000,000 円	東北自伐型林業塾
(2)	栃木県自伐型林業推進協会 とちのもり ＜コンソーシアム＞一般社団法人 山守学舎	栃木県	10,000,000 円	自伐型林業による共創のもりづくり ～人に喜ばれ、稼ぎのある美しい山づくり～
(3)	ほくりく自伐型林業協議会	福井県	10,000,000 円	自伐型林業自立支援プログラム in JAPAN ～森から学ぶ自立に向けた知識・技術習得プログラム～
(4)	一般社団法人ディバースライン	長野県	9,990,000 円	自伐型林業就労支援プログラム実施による就労定着支援事業 ～森とくらし森ではたらくライフスタイルの創造～
(5)	天竜小さな林業春野研究組合	静岡県	10,000,000 円	小規模持続型林業による希望ある未来への礎づくり ～担い手育成、木材の流域流通モデル構築・地域間支援連携～
(6)	株式会社 ワイルドウインド	京都府	10,000,000 円	吉野発、次世代の「山守」育成事業
(7)	智頭町複業協同組合	鳥取県	9,995,000 円	智頭の森を守る自伐林業家を持続可能にする地域内事業開発事業
(8)	株式会社 FOREST WORKER	広島県	10,000,000 円	林業就業を目指した技術習得プログラムの創造事業 ～地域に根ざした生業としての育林研修プログラム～
(9)	高知地域林業ネットワーク	高知県	9,996,000 円	高知で始める地域の林業なりわい創生事業 ～根っこでつながる小さい林業ネットワーク～
(10)	九州林業塾	福岡県	10,000,000 円	九州林業塾
助成総額			99,981,000 円	

【地域の森林を守り育てる生業創出支援事業（休眠預金等活用事業 / 通常枠）】

当団体では 2020 年度の休眠預金等活用事業（通常枠）の資金分配団体に選定され、（特非）自伐型林業推進協会及びランドブレイン㈱とコンソーシアムを組んで「地域の森林を守り育てる生業創出支援事業」（～2024 年 3 月末）を実施している。事業の趣旨は、少子高齢化、人口減少が進行することにより、活力が失われている中山間地域において、その面積の約8割を占める森林資源に着目し、持続可能な森林施業を可能にする「自伐型林業」の手法等を活用し、地域に住み続けられる半林半Xの生業づくり創出を支援しようとするものである。

助成事業の概要は以下の通りである。

＜助成事業の概要＞

- 対象となる地域: 日本国内の全域
- 対象団体: 持続可能な森林資源活用に関心を持ち、中山間地域での生業づくりを実践可能な団体（地域おこし協力隊、地域商社、環境系 NPO 等）
- 助成期間: 3 年（2021～2023 年度）
- 助成額: 1 実行団体当たりの助成上限額は 700 万円（3 年間）
  ※助成総額は 3500 万円を目途とする

2022 年度は助成期間の 2 年目に当たり、①2021 年に採択した実行団体（4 団体）の伴走支援、2 年目の助成金支払い、②2021 年に内定取り消しによる二次募集で採択した実行団体（1 団体）との資金提供契約の締結、助成金支払い、③資金分配団体としての本助成事業の中間評価を行った。

＜地域の森林を守り育てる生業創出支援事業 実行団体＞

No.	団体名	所在地	今年度 助成金支払額 (助成決定額)	申請事業名
（1）	合同会社 百	宮城県	200,000 円 (7,000,000 円)	「食とエネルギーの自給 100%」を体験できるエコモデーションの運営と木質資源の新しい価値の創出
（2）	株式会社 ワイルドウインド	京都府	612,000 円 (7,336,000 円)	自然資源活用での地域生活を目指す方の独立支援事業
（3）	株式会社 FOREST WORKER	広島県	2,934,832 円 (7,226,200 円)	林業における複業型就労の提案
（4）	一般社団法人 ディバースライン	群馬県	1,851,000 円 (7,336,000 円)	森の担い手育成と森・人・地域社会を豊かにする事業
（5）	株式会社 皐月屋	鳥取県	5,282,800 円 (7,225,000 円)	「人を活かす山を創る」場づくりと自伐型林業人材、複業・兼業人材の創出事業
助成総額			10,880,632 円 (36,123,200 円)	

2011 年の東日本大震災の津波等の影響で発生した福島第一原子力発電所事故は、国際原子力事象評価尺度（INES）のレベル7に相当する未曾有の事故である。その廃炉作業は、この先 30～40 年がかかると目されている。当法人では 2014 年から廃炉・汚染水対策に係る基金管理を担って来たが、これに関連して廃炉プロセス等でも不可欠となる原子力技術分野の研究・技術開発・人材育成や技術伝承やサプライチェーン維持を趣旨とした以下の補助金の執行管理業務を担っている。

【原子力産業基盤強化事業費補助金（経済産業省 資源エネルギー庁）】

本補助金は、平成 25 年度から基金設置法人として関与して来た廃炉汚染水対策事業の派生事業の一つである。廃炉技術等を支える原子力産業分野の機器・サービスの安全性や信頼性向上に資する取り組み、人材育成や技術の伝承、サプライチェーンの維持等を目的とする取り組みに対して、当該経費の一部を補助することにより、原子力の安全性・信頼性を支えている原子力産業基盤の維持・強化を図ることを目的とするものである。当団体では本補助金の執行団体として、補助金の事務局を担った。尚、本年度は令和 3 年度補正予算の執行も行った。主な執行概要は以下の通りである。

（補助事業の採択件数・金額）

- 補助事業数: （令和 3 年度補正予算） 1 事業
  （令和 4 年度予算） 20 事業
- 補助金交付実績額: （令和 3 年度補正予算） 200000 千円
  （令和 4 年度予算） 588220 千円

【原子力の安全性向上に資する技術開発費補助金（経済産業省 資源エネルギー庁）】

福島原発事故のような過酷事故下では大量の水素が発生し、水素爆破が生じた。廃炉の取り組みは進行中であるが、未だ燃料デブリ回収は目途が立っておらず、過酷事故を起こさせないための対策は不可欠である。本補助金は、原子力技術の安全対策の高度化に関する研究及び開発を促進することを目的としており、我が国における原子力技術の安全水準の向上、信頼回復を図るものである。当団体では本補助金の執行団体として、補助金の事務局を担った。尚、本年度は令和 3 年度補正予算の執行も行った。主な執行概要は以下の通りである。

（補助事業の採択件数・金額）

- 補助事業数: （令和 3 年度補正予算） 1 事業
  （令和 4 年度予算） 16 事業
- 補助金交付実績額: （令和 3 年度補正予算） 173642 千円
  （令和 4 年度予算） 585380 千円

【社会的要請に応える革新的な原子力技術開発支援事業補助金（経済産業省 資源エネルギー庁）】

社会的な要請から再生可能エネルギー導入の拡大や電力自由化など社会環境変化が進む中において、原子力の分野においても革新的な技術開発を促進することが求められる。本補助金は、安全性・経済性・機動性に優れた原子力技術の高度化に資する技術開発に要する経費に対して、当該経費の一部を補助することにより、社会的要請に応える原子力技術の開発を促進し、我が国の原子力の信頼回復、産業基盤の強化を図ることを目的とするものである。当団体では本補助金の執行団体として、補助金の事務局を担った。主な執行概要は以下の通りである。

（補助事業の採択件数・金額）

- 補助事業数: 10 事業
- 補助金交付実績額: 1133588 千円

2022 年度 ご寄付ご協賛企業・団体一覧

商品の売上げや、サービスによる収益の一部からのご寄附・ご支援

ザ・パック株式会社 ザ・パックは人と自然を大切にしています	**ザ・パック株式会社** https://www.thepack.co.jp/ EFF が植林活動を開始した 2000 年から商品売上げの一部で国内森林保全活動を継続してご支援いただくと共に、整備活動にも参加いただいています。
峠の釜めし本舗 おぎのや	**株式会社荻野屋** https://www.oginoya.co.jp/ 国内環境保全活動を環境に配慮したパッケージを使用した商品の売上の一部でご支援頂いています。
WASARA	**株式会社 WASARA** https://wasara.jp/ 国内での環境保全活動を環境に配慮したパッケージの売上の一部でご支援頂いています。
	服部製紙株式会社 https://www.hattoripaper.co.jp/ 国内・海外の環境保全活動に環境に配慮したパッケージを使用した商品の売上の一部でご支援頂いています。

各プロジェクトへのご寄付・ご協賛

すべての革新は患者さんのために 中外製薬 CHUGAI Roche ロシュ グループ	**中外製薬株式会社** https://www.chugai-pharm.co.jp/ 国内森林保全活動（静岡県川根本町、埼玉県秩父郡）に、ご協賛・ご参加頂いています。
docomo	**株式会社 NTT ドコモ** https://www.docomo.ne.jp/ 国内森林保全活動（千葉県富津市）に、ご協賛頂きました。
B-Three	**株式会社バリュープランニング** https://www.valueplanning.co.jp/ 海外環境保全活動（ブラジル・アマゾンの熱帯雨林再生）に、キャンペーン期間中の売上げの一部をご寄付いただきました。

■ その他事業は、今年度は実施せず。